

## 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月10日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ヨンキユウ

コード番号 9955 URL <http://www.yonkyu.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 笠岡 恒三

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 善家 富夫

TEL 0895-24-0001

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	27,020	26.4	856	251.7	994	143.8	579	62.0
23年3月期第3四半期	21,373	△1.6	243	—	407	—	357	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 591百万円 (98.9%) 23年3月期第3四半期 297百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	58.29	—
23年3月期第3四半期	34.98	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	23,789	17,741	74.6
23年3月期	19,513	17,229	88.3

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 17,741百万円 23年3月期 17,229百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,634	34.1	797	240.8	984	121.2	538	21.0	54.11

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 1社 (社名) 株式会社海昇、除外 1社 (社名)  
(注)詳細は、添付資料P. 3 「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

#### (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	11,556,084 株	23年3月期	11,556,084 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	1,612,652 株	23年3月期	1,612,557 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	9,943,473 株	23年3月期3Q	10,229,999 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年12月31日）におけるわが国経済は、東日本大震災により停滞していた企業活動や個人消費に持ち直しの動きが見られたものの、欧州経済の金融不安や円高の進行、タイの大洪水被害等による景気の下ぶれ懸念から、消費マインドに停滞の兆しも現れており、景気の先行きが不透明な状況で推移いたしました。

また、当社グループを取り巻く養殖業界におきましても、景気や消費動向の影響を受けており、経営環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループでは、主たる事業を同じくする株式会社海昇を子会社化するなど、経営基盤の強化と収益改善に取り組みました。

その結果、売上高に関しましては、子会社化した株式会社海昇の業績（平成23年7月1日から平成23年12月31日までの6ヶ月間の業績）が含まれていることもあり、「鮮魚の販売事業」及び「餌料・飼料の販売事業」の両事業において、販売数量が増加したことで増収となりました。

また、利益面に関しましては、ハマチ等の魚価低下により、販売費及び一般管理費に貸倒引当金繰入額4億20百万円（前年同期は、貸倒引当金繰入額39百万円）を計上しているものの、株式会社海昇との相乗効果による販売数量の増加と利益率の上昇等により、営業利益以下の各利益は増益となっております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は270億20百万円（前年同期比26.4%増）、営業利益は8億56百万円（前年同期比251.7%増）、経常利益は9億94百万円（前年同期比143.8%増）、四半期純利益は5億79百万円（前年同期比62.0%増）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

区分	平成23年3月期 第3四半期累計 金額（百万円）	平成24年3月期 第3四半期累計 金額（百万円）	対前年同期比較	
			金額差異 （百万円）	増減率 （%）
鮮魚の販売事業	14,899	17,535	2,635	17.7
餌料・飼料の販売事業	6,303	9,332	3,028	48.0
その他の事業	170	152	△17	△10.4
合計	21,373	27,020	5,646	26.4

（注）セグメント間の取引については、相殺消去しております。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### （資産）

当第3四半期連結会計期間末における総資産は237億89百万円となり、前連結会計年度末に比べ42億75百万円増加いたしました。その主な要因は、株式会社海昇の子会社化によるものであります。

流動資産合計は204億1百万円となり、前連結会計年度末に比べ36億81百万円増加いたしました。これは主に魚価が低下したことで貸倒引当金が4億3百万円増加いたしました。一方で、受取手形及び売掛金が42億71百万円増加したことによるものであります。

固定資産合計は33億88百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億94百万円増加いたしました。これも株式会社海昇の子会社化によるのれん4億21百万円の計上や有形固定資産が1億49百万円増加したことによるものであります。

#### （負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は60億48百万円となり、前連結会計年度末に比べ37億64百万円増加いたしました。その主な要因は、前述と同様に株式会社海昇の子会社化によるものであります。

流動負債合計は55億66百万円となり、前連結会計年度末に比べ37億71百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が30億50百万円増加したことによるものであります。

固定負債合計は4億81百万円となり、前連結会計年度末に比べ7百万円減少いたしました。

#### （純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は177億41百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億11百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が5億円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は74.6%（前連結会計年度末は88.3%）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績並びに景気や市況等を鑑み、通期の連結業績予想を修正いたしました。

なお、詳細につきましては、本日(平成24年2月10日)公表いたしました、「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、全株式を取得し子会社化した株式会社海昇を連結の範囲に含めております。

なお、みなし取得日が平成23年6月30日であるため、当第3四半期連結累計期間における株式会社海昇の業績は、平成23年7月1日から平成23年12月31日までの6ヶ月間を連結しております。

(2) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正により、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

(法人税率の変更等による影響)

平成23年12月2日に「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」(平成23年法律第114号)及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」(平成23年法律117号)が公布され、平成24年4月1日以降開始する事業年度より法人税率が変更されることとなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用される法定実効税率を、一時差異等に係る解消時期に応じて変更しております。

これによる繰延税金資産等の金額に与える影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,682,861	11,575,160
受取手形及び売掛金	3,910,602	8,181,709
有価証券	100,662	200,683
商品及び製品	336,212	344,173
仕掛品	108,602	124,813
貯蔵品	10,665	12,176
短期貸付金	1,369,012	1,082,502
その他	39,847	122,930
貸倒引当金	△839,217	△1,243,028
流動資産合計	16,719,248	20,401,121
固定資産		
有形固定資産	1,734,201	1,883,644
無形固定資産		
のれん	—	421,881
その他	3,159	2,463
無形固定資産合計	3,159	424,345
投資その他の資産		
その他	1,489,600	1,524,811
貸倒引当金	△432,529	△444,339
投資その他の資産合計	1,057,071	1,080,472
固定資産合計	2,794,431	3,388,462
資産合計	19,513,680	23,789,583
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,426,736	4,477,594
未払法人税等	34,755	453,369
賞与引当金	15,051	4,328
その他	317,709	630,808
流動負債合計	1,794,252	5,566,100
固定負債		
退職給付引当金	140,621	146,466
役員退職慰労引当金	349,042	333,334
その他	—	2,107
固定負債合計	489,664	481,908
負債合計	2,283,917	6,048,008

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,187,615	2,187,615
資本剰余金	2,521,825	2,521,825
利益剰余金	13,315,383	13,815,481
自己株式	△778,391	△778,435
株主資本合計	17,246,431	17,746,485
その他の包括利益累計額		
其他有価証券評価差額金	△16,694	△4,910
その他の包括利益累計額合計	△16,694	△4,910
少数株主持分	26	—
純資産合計	17,229,763	17,741,575
負債純資産合計	19,513,680	23,789,583

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	21,373,340	27,020,249
売上原価	19,058,033	23,275,505
売上総利益	2,315,307	3,744,744
販売費及び一般管理費	2,071,711	2,888,129
営業利益	243,595	856,614
営業外収益		
受取利息	94,476	83,040
受取配当金	5,033	5,802
投資不動産賃貸料	47,730	33,950
その他	52,153	55,407
営業外収益合計	199,394	178,200
営業外費用		
投資不動産賃貸費用	17,696	17,244
投資事業組合運用損	11,803	12,123
その他	5,779	11,373
営業外費用合計	35,278	40,741
経常利益	407,710	994,073
特別利益		
固定資産売却益	683	801
貸倒引当金戻入額	10,646	—
受取和解金	—	17,500
特別利益合計	11,329	18,301
特別損失		
固定資産売却損	1,132	—
固定資産除却損	440	185
投資有価証券評価損	28,812	—
減損損失	11,565	—
特別損失合計	41,949	185
税金等調整前四半期純利益	377,090	1,012,189
法人税、住民税及び事業税	19,297	446,851
法人税等調整額	—	△14,281
法人税等合計	19,297	432,570
少数株主損益調整前四半期純利益	357,793	579,619
少数株主損失(△)	△7	△26
四半期純利益	357,800	579,646



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	357,793	579,619
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△60,433	11,784
その他の包括利益合計	△60,433	11,784
四半期包括利益	297,359	591,403
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	297,367	591,430
少数株主に係る四半期包括利益	△7	△26

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鮮魚の販売 事業	餌料・飼料 の販売事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	14,899,458	6,303,686	21,203,145	170,195	21,373,340	—	21,373,340
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,963	92,611	98,575	155,911	254,487	△254,487	—
計	14,905,422	6,396,298	21,301,721	326,106	21,627,828	△254,487	21,373,340
セグメント利益又は 損失(△)	△426,585	657,078	230,493	△804	229,689	13,906	243,595

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社の事業(一般貨物運送事業及びマグロ養殖事業)であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額13,906千円には、セグメント間取引消去における内部利益△1,574千円及びその他の調整額15,481千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動、重要な負ののれん発生益の認識はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鮮魚の販売 事業	餌料・飼料 の販売事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	17,535,381	9,332,394	26,867,775	152,473	27,020,249	—	27,020,249
セグメント間の内部 売上高又は振替高	18,289	103,484	121,773	150,388	272,161	△272,161	—
計	17,553,670	9,435,878	26,989,549	302,861	27,292,410	△272,161	27,020,249
セグメント利益又は 損失(△)	35,078	861,111	896,189	△5,838	890,351	△33,736	856,614

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社の事業(一般貨物運送事業及びマグロ養殖事業)であります。

- セグメント利益又は損失(△)の調整額△33,736千円には、セグメント間取引消去における内部利益△3,326千円、のれん償却額△46,875千円及びその他の調整額16,465千円が含まれております。
- セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
- 前連結会計年度の末日に比べて、当第3四半期連結会計期間末の報告セグメントごとの資産の金額が著しく変動しております。その概要については、株式会社海昇の全株式取得による子会社化に伴うものであり、その影響額は、鮮魚の販売事業で724,165千円、餌料・飼料の販売事業で1,961,359千円及び調整額で1,351,581千円がそれぞれ増加しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間において、株式会社海昇を子会社化いたしました。これによる報告セグメントの変更等はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間において、株式会社海昇を子会社化いたしました。これによる当第3四半期連結累計期間ののれんの金額は421,881千円であります。なお、当該金額は報告セグメントに属さない全社資産(調整額)に含めております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。